

■2002-2003■



岐阜中週報

会 長 勝 野 和 男
幹 事 杉 山 正 裕
発行者 ウェブ委員会
委員長 中 山 章

平成 15 年 2 月 18 日 (火)
第 510 号
第 586 回例会

Sow the Seeds of Love
慈愛の種を播きましょう R.I.会長 ピチャイ・ラタクル

例 会 毎週火曜日 12 時 30 分
会 場 岐 阜 ルネッサンスホテル
事務局 岐 阜 市 神 田 町 2-2
電 話 264-9235 番

会 長 挨 拶

勝野 和男

かつての週報は、先週はどんなだったかと卓話者の目を盗みまして例会の時間に読むのが楽しみで、家に持ち帰って読むような事はありませんでしたから、パソコンから取り出すようになりましてすっかり縁遠くなってしまいました。

このパソコンから取り出せるというのが曲者であります。学生時代の友達に何人かのロータリアンがいて、何時の頃からか友達全員の知るところとなり、最近ではホームページから会長挨拶は筒抜けであります。“先週のはなかなかよかったから会社の朝礼に使わせてもらった”とか、“何を言いたいのか焦点がない、そろそろ限界だな?”とか遠慮のないメールが来ます。“来週は期待している!”なんて来ますと益々プレッシャーになり、クラブでの挨拶なのに友達にむかっの挨拶を考えているかと思う時があります。又、不特定の人に覗かれる場合もあろうかと、原稿を提出すると

きにはセクハラの表現はないか、差別の表現はないかとチェックいたしまして、昔の会員だけの週報がうらやましく思えたりいたします。あと5ヶ月自然体を心がけて頑張りたいと思っております。

尚、退院予定でありました加藤一誠さんは砕いた胆石がなかなか出てこないということで継続入院のようであります。彼の性格どおりの頑固な石であります、もう少しかかる事でしょう。

第 8 回定例理事役員会

日時:平成 15 年 2 月 4 日(火)13:40~

場所:岐阜ルネッサンスホテル

司会:杉山正裕 幹事

出席者と資料の確認:加納永一朗副幹事

議事録作成者:長井義夫副幹事

会長挨拶:勝野和男会長

議長選出:勝野和男会長

閉会の挨拶:直前会長

出席者:勝野、杉山、内木、加藤(義)

濱田、松井、中根、高橋、安藤、柴田、

加納、長井

【議題】

第 1 号議題:2 月 25 日プログラムの件
予算はMA X2, 800×38=106, 400 と
50, 000 の 156, 400 円 (31 名×5, 000
円程度) 一人 1, 000 円を会費として、
集めるかどうか。

超過分はその参加者で負担する。

第 2 号議題:3 月のプログラムの件

3 / 4 (火) 秋保会員 卓話

3 / 11 (火) 地区米山副委員長

藤田こう三君(岐阜城RC) 謝礼無し

／米山奨学

米山奨学生イリア・アブラヒム・アブ

バガーさん(ナジエリア) 御礼 5, 000 円

「米山奨学について」

3 / 18 (火) 東海テレビ アナウンサー

(フリー) 森本曜子様謝礼 1 万円

／ウェブ委員会

3 / 25 (火) 観桜夜間例会 十八楼

受付開始 17 : 30

点 鐘 18 : 00

開 宴 18 : 30

第 3 号議題:補正予算編成の件

スマイルボックスから、社会奉仕委員

会の予算額 182, 000 円と同額を本会計

に繰入れる。

前例会の記録

平成15年 2月 4日 (火)

[点鐘]12時30分

[ソング]奉仕の理想

[ゲスト]市議会議員西垣勲様

[ビジター]河村訓陸君

(岐阜北R. C.) 他1名

[出席]会員総数42名

(出席免除0名、猶予1名)

本日出席27名 65. 85%

[行事]会長挨拶・食事・幹事報告・

委員会報告・ニコボックス報告

[卓話]「岐阜大学の将来展望」

市議会議員西垣勲様

担 当 直前会長

次 回 予 定 第587回

平成15年 2月 25日 (火)

[点鐘]

[行事]分散夜間例会

担当 R情報委員会

本部費は実際の金額とした。ウェブはパソコン購入代金。プログラムはプロジェクター購入代金ほか。スマイルは投函伝票購入超過分。

承認されました。

【報告事項】

- 1.クリスマス夜間例会の決算報告
- 2.米山奨学の依頼が次年度あるかもしれない。

国際奉仕活動のあり方に関する クラブフォーラム

平成 15 年 1 月 30 日
2003 年 1 月 28 日 1 月度第 4 例会において、国際奉仕活動について 5 つのテーブルに分かれてクラブフォーラムを開催した結果、下記のような意見が出された。

- 1> 米山・R財団について
「現在の方法でやむを得ない」が 3 テーブル
「会員数が減少しているので、寄付額も減らしては」が 1 テーブル
「意見無し」が 1
- 2> 交換学生事業について
「予算が取れない現状では、事業中断もやむを得ない」
「ホスト家庭が確保できない状態をどうするのか」
「少ない費用で事業継続が可能であれば、続けては」
「高校側に受け入れシステムがな

いところが多い」

以上の意見が代表的なものでしたが総じて「出来れば事業を進めては」という意見にまとめられるようです。

3> 新しい活動の模索

a) 「社会奉仕と共同事業活動もあり」という意見がいくつか出ました。事業内容の例として挙げられたのは；

- イ) 環境保全活動
- ロ) 発展途上国への継続的な教育援助活動

b) 留学生・交換学生との交流活動

c) 海外他クラブとの交流活動

d) 社会奉仕活動も満足にできていないのに、国際奉仕どころではない

e) 予算がない現状を考えて、「書き損じ葉書」活動を活発化させる

以上の意見が出されておりました。上記のうち 2 テーブルで a) の活動が取り上げられ、予算問題についても継続事業基金を 1 人 2000/月で別途に創設してはという意見が出ていました。汗を流す体験が出来る活動の一つとして検討しても良いのではと思います。

4> その他

「予算不要活動を検討してはどうか」という意見が 1 テーブル
活動例としては、環境レンジャーに参加し、長く付き合う方法もありという

ことです。

25 分という短い時間でありましたが、たくさんのご意見、有り難うございました。今後の活動の参考になると期待しています。以上

委員会報告

社会奉仕委員会 高橋慶太郎

植林例会は当初予定では 4 月 22 日を予定していましたが、下草刈には少し時期的に早いので、5 月 22 日に植林例会を日程変更させて頂きますのでよろしくお祈りします。



友情と奉仕の灯を スマイルボックス委員会

大洞 長栄君 西垣勲先生、本日は大変ありがとうございます。

上松 治義君 患者という立場になって改めて患者さんの苦痛、いらだち、あせりを認識致しました。長期のお休みご迷惑をおかけしました。